

議会 だより



議長・副議長挨拶	2
新議会構成	3
1月臨時議会	4
3月定例会	5
常任委員会	6
全員協議会	7
一般質問	8
議会と語ろう会	11
小学校閉校式・編集後記	12

議長あいさつ

議長 藤本 悟



町民の皆様におかれましては、平素より議会に対しまして格段のご支援・ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

地方分権が進む現在におきまして、二元代表制の一翼を担う議会の役割も一層大きくなっており、議員が皆様の声に耳を傾け、町政を発展させていく事が益々重要となっております。

また、定例会終了後に開催しております「議会と語ろう会」も24集落で多くの皆様の参加を得て開催させていただきました。残り13集落は、今年度中に開催いたしますのでご協力をお願い申し上げます。多くの声をお聞きし、議会と共有し、議論を重ね、理事者に提案をしてみたいと思います。

「開かれた議会」「行動する議会」「提案する議会」に軸足を置き、魅力ある、やる気のある町づくりを進めます。

町行政と議会が丸となって地方創生（エネルギー関係、定住環境の整備、地域経済を支える人材の確保、育成、地域産業の振興等）に注力しなければなりません。今後一層のご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

副議長あいさつ

副議長 崎元 良栄



この度、平成27年第2回美浜町議会定例会におきまして、副議長に就任させていただきます。ありがとうございました。

本町においては、美浜町活性化に向けて、山上地区に造成される若狭美浜インター産業団地、若者定住化にむけた新住宅団地また丹生地区に建設されるエネルギー環境教育体験施設等、多くの事業が進められています。議会としての役割を考えますと責任の重大さを痛感しております。

国においては、人口減少対策や空き家対策等、諸課題が山積する中、今後5ヶ年の目標や、施策、基本的な方向を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。本町でも「地方版総合戦略」を策定し、県と連携しながら事業推進をはかっております。政策提言、立案に取組み、住民がより安全・安心で暮らせるまちづくりに努力してまいります。

さらに美浜原子力発電所1・2号機の廃炉に伴う地域経済への影響や、雇用問題また3号機の原子炉設置変更許可申請等、エネルギー問題に対しても、美浜町の将来を見据えた政策が必要と考えます。これからも住民とのパイプ役として一生懸命活動していきますのでよろしくお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

美浜町議会構成図



1月臨時会(1月28日~2月3日)

平成27年度第1回臨時議会は1月28日~2月3日までの4日間の日程で開かれました。

(単位：万円)

予算項目	予算額	前年度比較
平成27年度美浜町一般会計予算	68億5,751	5億8,536
平成27年度美浜町診療所事業特別会計予算	1億7,067	△339
平成27年度美浜町国民健康保険事業特別会計予算	13億5,333	2,707
平成27年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計予算	1億1,334	233
平成27年度美浜町介護保険事業特別会計予算	11億3,389	△7,317
平成27年度美浜町簡易水道事業特別会計予算	7,962	△3億652
平成27年度美浜町集落排水処理事業特別会計予算	1億6,428	431
平成27年度美浜町公共下水道事業特別会計予算	5億173	785
平成27年度美浜町産業団地事業特別会計予算	7億4,813	7億4,813
平成27年度美浜町住宅団地事業特別会計予算	2億6,970	2億6,970
平成27年度美浜町道路用地取得事業特別会計予算	3億7,417	3億7,417
小計	49億1,371	10億5,003
平成27年度美浜町上下水道事業予算(企業会計)	3億414	△757
合計	120億7,536	16億2,782

◎ 美浜町特別会計の一部を改正する条例の制定についての1議案、予算関係12議案の合計13議案を承認しました。

平成27年度 一般会計当初予算概要

◎ 歳出予算の内訳(主要事項)

(単位：万円)

款	主要事項	金額	事業概要等
総務費	公共交通運行事業	3,426	平成27年4月から昼間運行に予約方式を導入するとともに、予約専用のバス停を増設し、利便性を図る。
民生費	福祉支援センターあいばる指定管理料	1,500	福祉支援センターあいばるの指定管理者を指定し、その施設の維持管理費。
衛生費	廃棄物処理広域化事業	180	嶺南地域6市町(敦賀市を除く)のごみ広域処理施設の整備に向け、一般廃棄物処理広域化基本計画を策定。
農水産業林費	多面的機能支払交付金	5,629	農地の多面的機能の維持及び農地の維持活動や農業用排水路等施設の長寿命化のための取組みを行う活動組織の支援。
土木費	国道27号整備事業	418	国道27号交通安全事業(河原市・郷市)の進捗を図るため、用地国債を設定し、事業用地を先行取得するための特別会計を設け、必要経費を繰り出す。
教育費	歴史文化館設置事業	1億7,904	旧せせらぎ保育園を再利用し、歴史文化会館として活用するため改修工事を実施。
	多目的屋内運動場整備事業	5億8,394	多目的屋内運動場を整備し、地域住民の健康づくり、生きがい活動の場としての活用を図り、生涯学習スポーツの推進を図る。

3月定例会 (3月11日～25日)

3月定例会は3月11日から25日までの15日間の会期で開催されました。平成26年度一般会計補正予算等議案32議案を関係常任委員会に付託しました。

平成26年度 一般会計3月補正予算概要

予算規模	補正額	7億5,106万円	補正後 予算総額	77億1,568万円
------	-----	-----------	-------------	------------

◎ 歳出予算の内訳 (主要事項)

(単位:万円)

款	主要事項	金額	事業概要等
総務費	路線バス運行維持事業	345	福鉄バス若狭線/菅浜線
	空き家対策委託料	613	町内空き家実態調査業務
	公共施設維持運営基金	31,633	小学校をはじめ全34施設の基金新設
	地方創生費	3,580	<ul style="list-style-type: none"> ○プレミアム付き商品券発行 ○すみずみ子育てサポート事業 ○地方版総合戦略策定事業 ○新たな出会い応援事業 ○「ウェルカム美浜」住まいるバンク活用事業 ○「若狭美浜企業誘致応援隊」活動事業
衛生費	公立小浜病院組合負担金	1,928	レイクヒルズ美方病院負担金増
農林水産費	経営体育成支援事業	1,004	経営体育成等規模拡大のための農業機械整備支援
	県営事業負担金	1,500	<ul style="list-style-type: none"> ・農村災害対策整備事業 ・農道保全対策事業
土木費	若者定住化対策事業	20,023	山上住宅団地基金積立
	町道日向線道路改良事業	5,000	町道日向線東地区420mの改良事業基金新設
消防費	要配慮者等屋内退避施設整備事業	21,200	<ul style="list-style-type: none"> ・竹波地区放射線防護対策施設建築工事 ・原子力防災資機材購入費

小学校 ICT 環境整備事業備品購入契約について

現在あるパソコンのウィンドーズXPのサポート終了に伴い、タブレット型の新しい機種を購入し、再編された小学校3校に設置されます。台数は105台で、他の設備機能やシステムも含めた落札価格は1,973万円。より機能的な授業を行えるようになります。

●平成26年度美浜町一般会計補正予算
(第6号)

(総務費)

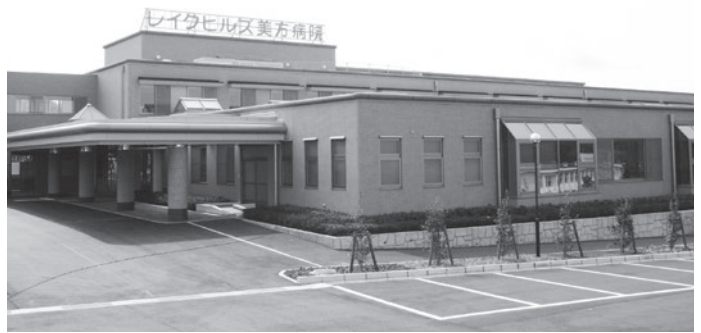
問 空き家実態調査業務委託とあるが、どのような調査内容か。また、委託業者はどのようなものか。

答 調査内容は、空き家の件数、実際に使用できるかの判断、更使用者の確認、今後どのようにするのか等アンケートの実施を考えている。委託先はNPO 福井ふるさとサポートセンター、地元専門家や業者に協力を得たい。データベータ化も考えている。

(衛生費)

問 レイクヒルズ美方病院への負担金について、今の経営状況から毎年このままで良いのか疑問である。嶺南地域の病院が協力し合い合理的な病院経営が必要ではないか。

答 病院にはそれぞれの特徴があり、話し合いをするのが難しい。嶺南地域は嶺北に比べ医師数が少なく、小浜病院傘下でも医師不足が問題になっている。레이크ヒルズ美方病院では今後のあり方について専門の方にも入っていただき、検討委員会を設けて取り組んでいる。



레이크ヒルズ美方病院

(教育費)

問 パソコンの保守点検業務委託料について、新年度からタブレット型パソコンに変わり、パソコン教育の基本形態が変わるが大丈夫か。

答 従来のパソコンは撤去する。より高度な授業が出来ると思う。よって(平成26年度美浜町一般会計補正予算(第5号))

●平成26年度美浜町診療所事業特別会計補正予算(第2号)

●平成26年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)

●平成26年度美浜町介護保険事業特

別会計補正予算(第3号)

●平成26年度美浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)

●平成26年度美浜町集落排水処理事業特別会計補正予算(第2号)

以上の審査を終了し、7議案を承認しました。(崎元記)

総務文教
常任委員会

付託案件13件

●美浜町課設置条例の一部を改正する条例の制定について

問 教育委員長と教育長を一本化し、町長が教育長を任命するとなれば、教育長は誰が監督するのか。

答 新教育長と教育委員4名の体制は変わらない。教育長のチェックは教育委員が行い、首長の権限が直接教育の中に入って来る事はなく、総合教育会議も設ける。

●美浜町放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例の制定について

問 児童クラブの利用児童が増えた場合、受け入れは大丈夫か。

答 各学校内の敷地に一ヶ所ずつ施設を8月中旬に整備出来れば、ほぼ可能と見ている。

●美浜町公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の改正について

問 学校長が公民館長を兼務するのか。また対象エリアはどう

なるのか。

答 新公民館制度から学校長の兼務職は改善したい。エリアは生活圏内の方向性が示されている。

●美浜町公共施設維持運営基金条例の制定について

問 ゆうあい広場は、基金対象の施設に入っていないが、出来ないのか。

答 農林水産省所管の施設のため対象外となるが、今後協議の中で検討していく。

●美浜町職員定数条例の一部を改正する条例の制定について

●美浜町行政手続条例の一部を改正する条例の制定について

●美浜町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●美浜町特別報酬等審議会条例の一部を改正する条例の制定について

●美浜町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●美浜町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

●美浜町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例を廃止する条例の制定について

●美浜町教育長の勤務時間等に関する条例の制定について

●美浜町教育長の勤務時間等に関する条例の制定について

●美浜町教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について
以上の審査を終了し、13議案を承認しました。
(辻井記)

産業厚生 常任委員会

付託案件12件
請願1件
陳情1件

●美浜町保育所条例の一部を改正する条例の制定について
利用者負担額を見直す考えは。また、保育士は集まるのか。

問

また、保育士は集まるのか。

答

法定価格の30から50パーセント安い。保育士は確保できている。

●美浜町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
基準額5600円は、県内市町の中でどの位置にあるのか。

問

基準額5600円は、県内市町の中でどの位置にあるのか。

答

県内では下から3番目に安い。

●美浜町指定地域密着型サービスの事業の人員、施設及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

●美浜町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、施設及び運営並びに美浜町指定地域密着型サービスに係る介護予防のための効率的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

●美浜町みずうみ保育園整備基金条

例を廃止する条例の制定について
●美浜町指定介護予防支援事業者の指定に関する基準を定める条例の制定について

●美浜町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について

●美浜町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の制定について

●美浜町道日向線道路改良事業基金条例の制定について

●美浜町丹生漁港環境広場の指定管理者の指定について

●町道路線の廃止について

●町道路線の認定について
以上の審査を終了し、12議案を承認しました。

請願審査

●手話言語法制定を求める意見書の提出について
採択しました。

陳情審査

●舞鶴若狭自動車道の4車線化に関する意見書について
採択しました。
(野瀬記)

全員協議会

【3月17日】 美浜1・2号機の廃炉を表明

3月定例会の会期中に、関西電力(株)美浜1・2号機の運転方針(廃炉)の決定と3号機の原子炉設置変更許可等の申請について原子力事業本部長から説明がありました。供給力確保の運転可能期間、工事費等の総合的に勘案した結果、廃炉にする旨の報告を受けました。

今後の安全対策、3号機の運転再開、更に廃炉に向けた産業と雇用確保には今まで同様に力を尽くすと説明があり、多くの意見が出されました。

【3月23日】 第5次美浜町総合振興計画の進捗状況が提示される。

平成28年度から始まる美浜町の第5次総合振興計画の策定進捗状況が示されました。

「まちづくりへの住民参加」と「住民と行政のより一層の協働」が必要で、人口減少対策を重点に美浜創生を取り組んでいく説明がおこなわれました。

【3月23日】 美浜町エネルギー環境教育体験施設(仮称)について

丹生小学校を改装・増築してのエネルギー環境教育体験施設の建築展示、管理運営方針(案)について説明を受けました。しかし協議時間が少なく議会としてももう少し時間を掛け協議することにした。

3月12日には、 ●公立小浜病院レイクヒルズ美方病院の運営について

●竹波地係の放射線防護対策施設について

●第6期介護保険事業、高齢者福祉計画並びに子ども子育て支援計画について

説明を受け協議しました。(辻井記)



美浜発電所



兵庫 賢一 議員

美浜町の創生、ふるさと納税の活用は

問 原子力発電との共生で今日まで来たが、国のエネルギー政策が転換されようとしているが、今後の方針は如何されるか。

町長 国はベースロード電源として位置づけしたので、国策に対し共生を目指す方向で町民皆様に説明をし、理解は得られたと考えている。エネルギーのベストミックス、特にリプレイスを要望していきたい。決まるまでは町の方針は出し難い。

問 山上の工業団地に期待しているが、地元企業を育成することも重要であると考えているが。

町長 これまで農水産業の支援を重点的にやってきた。後継者が育たなかった分野もあるが続けたい。2次・3次産業も支援してきたが充分ではなかった。プレミアム券を事業化し進めていきたい。運転資金・設備資金の貸付の利子補填もやっている。家のリフォーム事業に対する支援もやってきた。商工振

興を図って行きたい。

問 6次産業化の取り組みに、商工業者も参画し連携を取る必要性があると考えているが、現状は。

町長 現状はへしこは頑張っているが、零細な事業にとどまり多くない。地域内で技術や知識を持った人たちが加工・販売を展開し、進めていく手法の必要もある。体制づくり・軌道に乗るまでの協力が必要と考えている。

問 『ふるさと納税』を町の産業活性化に活用すべきではないか。

企画政策課長 5千円の寄付に対し、へしこ1本と広報みはまを1年分。1万円の寄付に対し、へしこ・米4kg・広報1年分贈呈している。総務省からの指導で冷静な対応も必要だが、特産品の詰り合わせの返礼の活用も検討したい。

太陽光発電所建設に規制を

問 街並みの保全、古く由緒のある建物の保存は。

土木建築課長 平成23年度にマスタープランを策定した。明媚な景観資源を生かす景観づくりを掲げている。

問 住宅地での太陽光発電所の建設に一定の規制が必要ではないか。

町長 今後条例を設けて規制するか否かは検討しなければと考えている。



野瀬 雅己 議員

空き家対策について

問 昨年、国会において、空き家対策の推進に関する特別措置法が成立したが、その対策と美浜町の空き家の件数は。

土木建築課長 空き家の件数は、227軒ある。今後、空き家の所有者にアンケートし、各集落と連携し対応していきたい。

問 人口減少、定住促進にもつながるので空き家の活用システムを作る必要があるのではないか。空き家の購入及びリフォームの補助金については、県の補助以外に町独自の補助金を上乗せし幅の広い募集をしたらどうか。

町長 空き家対策については、支援していく必要があると思っっているので、NPO法人と力を合わせながらやっていく方向で検討したい。

地方創生について

問 昨年「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、国の予算に地方創生交付金4200億円が盛り込まれたが、この交付金を財源としてどのような事業を行うのか。

企画政策課長 地域の消費喚起・生活支援型の交付金として、販売額1万円、利用額1万2000円で、4500

問 地方創生は、人口減少の歯止め、東京への一極集中を是正するということだが、町も独自性を出していかないとより大きな地方創生交付金を得ることは難しいと思うが町長の考えは。

町長 これから出していくアイデアが勝負になってくる。第5次振興計画と合わせて少子化対策、農業基本計画等を特別に検討している。東京へ行く競争に負けたところは消滅しますとはっきり言われるので総力を挙げてやっていきたい。

質問、返答については質問者の
文責で掲載しております。



浜野 健治 議員

「エネルギー環境教育体験施設を 美浜創生」の目玉に

問 エネルギー環境教育体験施設の入場者を集める目玉プログラムは何か。又、将来の維持管理計画に自立性はあるのか。

町長 国が、地域の振興策として決めた施設であり、単なる科学館でなく学校で出来ない体験型教育施設である。国をはじめとして、企業、大学などの支援を求めている。

企画政策課長 体験を通してエネルギー環境を学べるように、工作、科学、サイエンス、昔、どこでもエネルギーの5本を柱にしている。運営は多様な人材を活用して、経費の縮減に努め、3年間は委託、その後指定管理、公益法人化を計画している。地域のボランティアも活用する。

半島ゾーンに宿泊型イベントを

問 美浜町観光振興計画で、ほんもの体験の感動をどの様に継続していくのか。更に、敦賀半島西ゾーンでもう一つ宿

泊型ビッグイベントの企画を提案する。

町長 エネルギー環境教育体験施設、ボートを中心に、多目的ホール活用のスポーツ交流、なびあすを活用した文化交流を進めて行きたい。半島ゾーンの活性化を支援する。

町長 半島ゾーンの活性化は検討中であり考えて行きたい。

町長 海外からの観光が増加しているが、美浜の対応は。

町長 嶺南6市町が一体となり教育旅行を台湾中心に誘致している。その中で当町は新北市石門区と姉妹契約を結び進めて行っている。

町長 半島先端の道路整備状況は。

町長 先端の周遊道路と、原子力災害制圧道路は工事が進んでいる。将来的に災害に強い道路として考えて行きたい。

町長 国道27号と梅街道を結ぶ高規格道路の計画は。
土木建築課長 松屋河原市線のほぼ直線上で考えて行きたい。

コミバス、 児童生徒の減免措置を検討

町長 コミュニティバスの高校生以下の減免措置を希望するが。

町長 27年度を施行期間として次の段階で検討したい。

原発の集中立地と 地震活断層について



河本 猛 議員

問 敦賀半島には多くの原発が集中立地し、活断層や破砕帯も多く集中している。原発の敷地から1キロ以内に耐震上考慮すべき活断層が確認されている原発はどこか。

町長 敦賀半島にある美浜発電所、もんじゅ、ふげん、それから日本原子力発電所が1キロ以内になる。

問 私も大きな地震が起きたという話を聞いた。その方は、「関電が若狭湾に大きな地震は来ないと言っているのはウソだ」と訴えてきた。昭和38年に嶺南地方を襲った越前岬沖地震はどれぐらいの規模だったか。

町長 調べてみるとマグニチュードは6・9、震度は敦賀で震度5となっている。

日本原子力研究開発機構の もんじゅについて

問 平成27年1月28日付けで、日本原子力研究開発機構から機器の集計の誤りについて、現状報告を受けていると思うが、内容はどのようなものか。

町長 機器の集計作業を実施する際、集計容量の不備や提議の曖昧さによって担当者ごとの分類に誤りが生じ、ダブルチェックが不十分であったことにより、報告書作成時の機器数に誤りが生じた。約400ヶ所ぐらいの過少報告になったという報告を受けている。

問 町長は、今後も原子力機構に任せておいて大丈夫だと、自信をもって言えるのか。

町長 「もんじゅ」の安全を原子力機構が守っていくという引き締めた対応はしているだろうと思っている。

意見 相次ぐ事故や不祥事で性能や安全性の確立など不可能であることが既に証明されている。もんじゅの役割は既に終わり、廃炉するとともに組織的にも原子力機構を廃止するよう国に求めていくべきだ。

エネルギー環境教育体験施設 について

問 エネルギー環境教育体験施設整備事業の財源は何か。

町長 高速増殖炉サイクル技術研究開発推進交付金で進めている。

意見 財源の確保に固執する余りに原発に対して強く物が言えないと住民は考えている。原子力事業者が物言えず、監視の目もゆるいのは事業者の怠慢を招き、安全性の向上など望みようもない。事業者が言う御理解と御協力を従順するのではなく、住民の命と暮らしを大切にすることで対応は厳しく、厳格に行ってもらいたい。

一般質問



竹仲 良廣 議員

エネルギー環境教育体験施設建設について

産官学が連携をして日本一のエネルギー教育施設に

問 高速増殖炉サイクル技術研究開発推進交付金15億円による、この建設にあたって町民の中には、このようなハコモノに対し非常に疑問視している。このことに対し町長はどのように考えているのか。

町長 美浜町はエネルギー環境教育の先進地であり、これまで取組んできた事の拠点施設として整備するもので、この教育は国も必要不可欠であると言っている。単なる科学館、見学施設ではなく重要な教育施設である。

問 施設完成後の維持管理費は8000万円程度かかると試算している。当面交付金の預金6億円を使用するとしているが、それが無くなる約8年後からの運営をどうするのか。

町長 この施設は国に支援していただく必要性を感じている。運営をして行く中で、十分検討する。

問 このような施設は一つの町で行うには大きすぎるのではないかと、県や国の支援が確定してから建設しても遅くないのではないかと。

町長 エネルギーのバイオニアとして教育施設も積極的にやって行くことと、この施設も積極的にやって行くこととを兼ねて実施しなければならぬ。また、県は積極的に協力すると言っている。

ている。国にも支援を要請していく。
問 この交付金は丹生区の振興、福祉向上のために特別に付けられた交付金だと認識している。今回のエネルギー環境教育体験施設が真に丹生区が望んでいることなのか。
町長 丹生区の方には基本的に理解を得ながら進めてきている。また、丹生小学校の活用は丹生区の方から提案をいただき取り入れた。

ふるさと納税について
これまで基金として約950万円積立、使途は検討

問 ふるさと納税は平成20年から始まった制度だが町ではこれまでどの程度の納税(寄附)があったのか。また、これによる事業は行っているのか。

企画課長 平成27年3月現在、件数が244件、寄付額累計で約950万円であり、基金積立をしている。

問 他の市町村と比較すると当町は少ない。今後の自治体運営に有用な財源になると思うが、増やして行く考えはあるのか。また、その方策はあるのか。
町長 広報の充実やPRをして拡大に努める。また、更なる特産品の活用を考えたい。

意見 ふるさと納税の拡大には返礼品(特産品)の種類の増大が必要であるが、他の町との違いも必要である。提案として、なかなか田舎に帰れない人のために、お墓の掃除をして花を添えてお参りを代行する券、空き家になっている家の周りの草取りや日向の水中綱引きに特設ステージをつくりそこへ優待する券など他と違った取り組みを提供すれば新たな納税者を増やせる可能性があるのではないか。



川畑 忠之 議員

人口減少に対する取り組みによる新住宅団地について

問 美浜町では、若者が住みやすい生活環境の整備のため、また若者流出による人口減少に歯止めがかかる事の期待を込めて、山上地区に約4万㎡の面積で、住宅団地を計画しているが、なぜこの地域なのか。近隣市町村の造成計画に勝てるのか。

町長 敦賀を含む近隣市町村の現状を充分調査して実施したい。また他の市町が取っている施策を積極的に取り入れていきたいと考えている。

土木建築課長 用地整備にあたっては、第一に子育て世代の環境、保育園、小学校等の距離、通勤通学の交通の利便性、候補地と成りえる農用地の活用、上下水道等の整合性、さらにアンケート調査の結果を踏まえ、経緯にいたった。町外からも子育てして行く若者に来てもらえる分譲地にしたと考えている。

問 宅地の区画数、団地造成工事の工期、販売価格帯はどのようになるのか。
土木建築課長 3年間で60区画の分譲計画で、60坪から100坪に分ける予定。近隣地区の坪当り単価は、

約8万円から12万円になっているので、競合出来る金額にして、アピールしたいと考えている。

学校給食での地元産食材を利用する取り組みについて

問 近年の少子高齢化、後継者不足等で離農者が増え、地場産野菜の仕入れが難しいと言われるなか、学校給食においては、地場産の食材を取り入れることで、地産地消の取り組みになると考えられる。学校給食での地場産農産物の利用状況はどうなっているのか。
学校教育課長 現在、JAみはま基幹支店担当課が、Aコープに納入している生産農家を中心に、出荷できる野菜等を取りまとめて、給食センターに提供している。また、農業への理解促進及び米の消費拡大も積極的に進めている。地場産物の使用率は、県平均に比べると低い水準だが、JA二州農林部、農林水産課や関係機関と連携をとり、計画的、安定的に供給できる体制を整えつつある。また、県では学校給食向けに野菜栽培を行うハウス整備や保冷庫、コンテナ等の整備費用の一部を助成する制度を設けている。町としても生産者の支援に役立たせたいと考えている。

★その他に、次の項目も一般質問しています。

協働の町づくりの基礎となるボランティア活動の内容について

議会と語ろう会

【議会と語ろう会 1班】

デマンドバスは利便性を第一に

【佐田区 2月6日 参加者18名】

小中学校の吊天井の改修について、どの学校で行われるのですか？原子力防災計画でなぜ風下になる大野市に避難しなければならぬのか？という質問や教育費の小学校再編推進事業で校章改修工事、校旗等購入費が1122万円もかかるのは高いと思う。デマンドバスは採算性ではなく町民の利便性を第一に考えてほしいというご意見が出されました。

厳しい指摘もいただきましたが、それだけ議会に対する期待が大きいと感じます。

【和田区 2月7日 参加者9名】

美浜町の転入転出、人口減少の具体的数字が知りたい。若者の転出を防ぐには働く場所が必要だと思う、広域で何かできないか？など、人口減少・若者定住化に対する質問がありました。

また、道路拡幅工事、急傾斜対策、排水路に関する切実な要望が出されました。出された要望は住民の皆様と一緒を進めて行きます。
(河本記)



議会と語ろう会の様子 (和田区)

【議会と語ろう会 2班】

まちづくりへの提言や地域にメリットのある施設を

【宮代区 1月24日 参加者20名】

宮代区では、人口減少や雇用の問題など切実に受け止めたご意見が多くありました。観光面では、レインボーラインなどの観光資源を活かすには、国道27号から梅街道へ直結する道路の整備や滋賀県へ抜ける道も必要といった町行政全般に積極的なご提案をいただきました。また、美浜町は、原子力発電所があるのに街灯が整備されていない暗い街だと言われる声や地域の集会所が老朽化する中新しい集会所建設を望む声もありましたが、今のところ抜本的な補助金がないため今後の課題となっています。

【丹生区 2月5日 参加者16名】

丹生地区は敦賀半島の端にあり原子力発電所のある地区なので、原子力災害時の避難の方法や半島道路の整備、エネルギー環境教育施設も地元でメリットがある施設にしてほしいとの声がありました。若者の定住では、産業団地と住宅団地を並行して進めてほしいという意見など活発な発言をいただきました。また、役場などの行政施設や介護施設が地区から遠いと感じておられることも実感しました。
(野瀬記)



議会と語ろう会の様子 (宮代区)

【議会と語ろう会 3班】

まちづくりに協働の精神を

【佐柿区 1月25日 参加者11名】

最初にコミュニティバス運行の利便性の向上で、出来るだけ予約者の近く

で乗せて欲しいと言う希望がありました。そして、県から「伝統的民家群」の指定を受けた町並みの保存や、国古城歴史資料館と連携したまちづくりを行政と協働で実施していきたいと言う意気込みが感じられました。更に野菜工場の再開、原子力レスキュー施設、産業団地造成等に対する意見を頂きました。

【早瀬区 1月29日 参加者23名】

産業団地、ヨウ素剤配布、コミュニティバス運行、小学校跡地利用等々、まさしく美浜町施策の旬の話題で盛り上がりました。又、区の悩みの有害獣対策や久々子湖の景観保存、文化財保存の提案等について活発な意見交換で、時間の経過を忘れるくらいの「議会と語ろう会」が出来ました。
(浜野記)



議会と語ろう会の様子 (早瀬区)

閉校式 思い出の小学校 永い歴史にありがとう。

小学校再編に伴い、閉校式が3月13日の美浜東小学校を皮切りに全ての小学校で行われ、永い歴史に幕を降ろしました。また、丹生、菅浜、新庄、美浜北小学校では、地域の特色を出して同窓会等の閉校行事も思考を凝らして行われました。これからも思い出を大切にしていきたいと思います。



 丹生小学校



 菅浜小学校



 美浜東小学校



 弥美小学校



 美浜南小学校



 新庄小学校



 美浜北小学校

編集後記

議長は新委員会構成より新しいスタートの挨拶。副議長は新任挨拶を掲載しました。各常任委員会の構成も変わり、梅津議員が当選され14名でスタートしました。

町では、新しく小学校やコミュニティバス等が新しくスタートしました。

議会も、新鮮な情報を町民の皆様にお知らせするため「議会だより」も一新しました。

議会活動がより見やすく、より分かりやすい議会広報紙を目指して、これからも私達の議会での出来事を、細かく伝えていきたいと思っています。

これからも「議会だより」をよろしく願います。

(川畑記)

美浜町議会 広報特別委員会

【委員長】 辻井 雅之
【副委員長】 川畑 忠之
【委員】 梅津 隆久
崎元 良栄
藤本 悟
松田 づめ子
飯田 豊



発行／美浜町議会 編集／議会広報特別委員会
〒919-1141 福井県三方郡美浜町郷市25-25 TEL.(0770)32-6711
美浜町ホームページ http://www.town.mihama.fukui.jp/ Eメール gikai@town.mihama.fukui.jp